

## 「2014年シーズンと2018年シーズンにおけるRSウイルス感染像の違い」についての研究

### のお知らせ

2014年6月1日から2015年5月31日、あるいは、2016年6月から2018年1月の間に、当科でRSウイルス迅速検査を実施し、検査結果が陽性であったお子さんで、かつ、検査時年齢が2歳未満で、強い気道症状や全身状態不良のために当科で入院加療したお子さんを対象とした研究を行っていることをお知らせします。

#### 1. 研究の意義と目的

従来冬に流行するRSウイルス感染が、近年、夏に流行する傾向が見られています。そこで従来の冬流行RSウイルス感染と、近年の夏流行RSウイルス感染で、感染したお子さんの症状や経過に違いがあるか、を調べています。もし違いがあるようなら、近年のRSウイルス感染の症状や経過を詳しく調べることで、治療経過を早期に予測できるようになり、予測した経過と異なる際は、早期に治療方針の変更をすることができるようになる可能性があります。

#### 2. 研究の方法

2014年6月1日から2015年5月31日、あるいは、2016年6月から2018年1月の間に、当科でRSウイルス迅速検査を実施し、検査結果が陽性であったお子さんで、かつ、検査時年齢が2歳未満で、強い気道症状や全身状態不良のために当科で入院加療したお子さんを対象に、診療の記録（カルテ）から以下の事項を調べます。

生年月日	RS迅速検査日	RS迅速検査結果	血液検査結果
身体所見	入院後の治療経過	家族歴	既往歴
退院日			

### 3. 個人情報の保護について

この研究を実施するにあたって、患者さんの診療の記録（カルテ）から得られる情報から住所、名前等が削られ、患者さん個人が特定できないように符合をつける「匿名化」を行い、鍵のかかるキャビネットに保管致します。患者さんとの符号とを結びつける対応表は、研究責任者が鍵のかかる別のキャビネットに保管することにより、患者さん個人の情報を管理します。これを連結可能匿名化といいます。こうすることによって、診療情報の解析を行う研究者には、誰の診療情報を解析しているのか分かりません。患者さん個人を特定する情報が公開されることはありません。調査対象となる患者さんお一人お一人へのご説明は致しませんが、ご自分の情報をこの研究に用いられたくないとお考えの場合にはお申し出ください。調査対象から省かせていただきます。この場合でも、診療や病院サービスにおいて患者さんへの不利益はございませんので、遠慮なくご連絡ください。なお、連絡が届いた時点で、すでに研究成果が発表され修正が不能である場合があります。この研究は2020年12月31日までを予定しており、研究期間終了後は得られた情報は診療実績情報として保管します。

この研究についてご質問などございましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先：芳賀赤十字病院小児科 齋藤真理、菊池豊

電話：0285-82-2195 FAX：0285-84-3323